



日々鍛錬 柔らの道で全国へ

1 桜木柔道クラブで練習に励む堀川さん、志水さん 2 坂本さん、高田くん 3 練習の終わりにはみんな黙黙

高め合える仲間

飯野小6年5人組

6月12日に佐賀県で行われた第37回マルちゃん杯九州少年柔道大会(佐賀県柔道協会、東洋水産(株)共催)小学生の部で3位となり、全国大会出場を決めた桜木柔道クラブ小学6年生チーム。7人中5人が飯野小6年で、写真上段左から、坂本梨乃さん(下砥川)、志水純恋さん(物領3町内)、堀川晴加さん(東無田)、下段左から高田怜生くん(下砥川)、須崎瑛心くん(小池秋水)です。

「おねがーいします」。道場に響き渡る声と練習に打ち込む姿から、選手たちの気迫が伝わってきます。

全国大会に向け、新たに始めたのが「子どもミーティング」。意見を言うのが苦手という5人が、それぞれの弱点や強化したい部分を自ら考え、出し合い、道場での練習の他、各自トレーニングに励みます。

互いに高め合い、みんなで挑む全国大会。9月18日に東京武道館で開催予定です。

2年連続全国大会出場 強さ光る女子中学生

強さ光る女子中学生

木山中3年の佐藤美侑さん(宮園)。女子個人63kg級で県大会、九州大会の両方で優勝し、8月24日に福島県で開催された全国中学校柔道大会に出場しました。

佐藤さんと柔道の出合いは5歳の時。「父が柔道をしていたので、私も始めました」。大会で優勝しても満足することなく、自分が納得できる柔道を求め日々練習に励み、「最後までやりきるように、



九州大会で松野監督と(本人提供)

自分の練習にこだわりを持っていきます」と話す佐藤さんは、自他共に認める負けず嫌い。指導に当たる益城柔道クラブの松野成哉さんは、「柔道に対してとても真剣で、私のめちゃな要望にもどうにか応えようとしてくれます」と佐藤さんの強さを語ります。

「これからも柔道を続けていきます。きついことにも自分から積極的に取り組める選手になりたいです」。

